

分析事例3

洪水浸水想定区域と筆ポリゴンによる農地における被害予想

<分析の視点等>

近年、線状降水帯の発生に伴う大雨による、甚大な被害が多く発生している。筆ポリゴンデータと国土交通省国土数値情報ダウンロードサイト (<https://nlftp.mlit.go.jp/>) の洪水浸水想定区域データ（河川単位）を用い、農地における被害予想の見える化を行う。

分析事例

<使用したデータ>

- ・筆ポリゴンデータ（2024 年）
- ・「国土数値情報 洪水浸水想定区域データ（河川単位）」（国土交通省）2023 年度（令和5 年度版）
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31a-2023.html>

この分析は筆ポリゴンデータと、福井県あわら市、坂井市の竹田川流域における洪水浸水想定区域データ（想定最大規模）との交差データを作成し、QGIS を用いて「国土地理院標準地図」（国土地理院ウェブサイト）を重ねて農地における洪水に被害予想が見える化している。

